

ハトの会

68回目を数えるハトの会、かつては8月10日（は・と）に定日開催されていたと聞きました。今年度はまさにその8月10日（土）、なかまち食堂において開催されました。昨年度から、ハトの会に初任者教育懇談会②の趣旨を加えましたので、若い先生方の出席も多く、盛大に行われました。

開会行事の後、他郡市に勤務されている先生方の自己紹介と近況報告、続いて初任の先生方から一学期の感想も交えた自己紹介が語られました。

教育懇談会では、「これからの飯水の未来を描く～北信濃の観光を通じて～」と題して、飯山市建設水道部まちづくり課 渡邊毅様、飯山市経済部広報観光推進室 丸山和幸様から、北信濃の内部環境・外部環境を客観的に分析して取り組んでいる観光についてお話を聞きました。特に飯山駅を中心とした周辺エリア信越9市町村が連携した“信越自然郷”の具体的な事業やPRポイントなどに参加者の興味が引かれている様子でした。また課題も語られておりましたが、前日に飯山高校が甲子園で健闘したことにも触れられ、「多くの子どもたちがこの地域を外へ誇らげることが、北信濃を持続可能な地域としていつまでも守り発展していくことにつながる」と子どもたちへの期待を込めてまとめていただきました。



た。

その後の、懇親会では先輩の先生方や他郡で活躍されている先生方と楽しく交流することができました。また、初任の先生方も大勢参加されたので年代も勤務校もそれぞれ違う参加者が、お互いを知り合う貴重な機会となりました。丁度、飯山高校野球部が凱旋帰校する時間となり、ハトの会はお開きとなりました。